

みそ味を売りとし、約15種類のみそラーメンを取りそろえるほか、ソムリエでもある店主が、数百種類のワインと日本酒を同じ敷地内で販売する珍しいラーメン店。収入が8割減に陥った中でも、さまざまなアイデアで乗り切ろうと奮闘中です。

1 どのような対策を？

カウンター席の座席は間隔を空け、飛沫予防として、両サイドにテーブルクロスを天井から吊り下げて仕切りを作りました。1人1セット用意したスパイスセットと一緒に除菌液も置き、テーブル拭きなどに使ってもらっています。お客様からは「徹底している」「安心して食べに来れる」と評価をいただいています。持ち帰りメニューにも挑戦し、つけ麺やチャーハン、餃



カウンター席の仕切り

子弁当など、冷めてもおいしいメニューを供提しています。

1 今後の取り組みは？

「会計時はトレイを使って金銭を受け渡す」など基本的なことを継続し、うまくコロナと共存していきたいです。免疫力を高められるように、乳酸菌とキムチが入ったピリ辛味の「乳酸菌味噌ラーメン」も開発しました。コロナメニューでもあり、これからの暑い季節にピッタリです。



ラーメン店

株式会社 旭屋
林弘之さん(上原町)

新型コロナウイルスに向き合う 挑戦する経営者に聞く

新型コロナウイルスの影響で収入が激減したり、休業に追い込まれたりする事業者が多く見られます。実際に受けた影響や切り盛りの工夫、来客が安心して足を運べる対策などを、ラーメン店を営む林弘之さんと老神温泉協会長の萩原忠和さんに聞きました



温泉旅館

老神温泉観光協会長
萩原忠和さん(利根町老神)

老神温泉の老舗旅館「観山荘」のオーナーで、今年6月に老神温泉観光協会長に就任。旅館の多くが休業を余儀なくされる中、同協会の第一人者として温泉街の復興を目指しています。

1 どのような影響を？

私の旅館は30年続く中で、1カ月以上休業することは初めてでした。大規模な旅館は従業員の給料も払わなくてはなりません。ようやく6月に営業を再開し、情勢を見ながら、観光協会などの関係機関を通してPRを進めています。

1 どのような対策を？

館内全体での密を防ぎ、接触回数を減らす環境を作りました。隣り合う脱衣籠を1つおきに並べ、食事処のテーブルの間隔を空けました。部屋への案内は割愛してフロント



間隔を空けて並べた脱衣籠

で済ませ、取り替えの浴衣は置き場所を作ってセルフでお願いしています。衛生面では、エレベーターのボタンなどたくさん手を触れる箇所の消毒を徹底しています。

1 読者へメッセージなど

宿泊を補助するキャンペーン「愛郷ぐんまプロジェクト」に登録し、週末の予約が少しずつ増えて励みになっています。お得なキャンペーン中にぜひお出掛けください。